

クラウドコンピューティング利用技術の開発

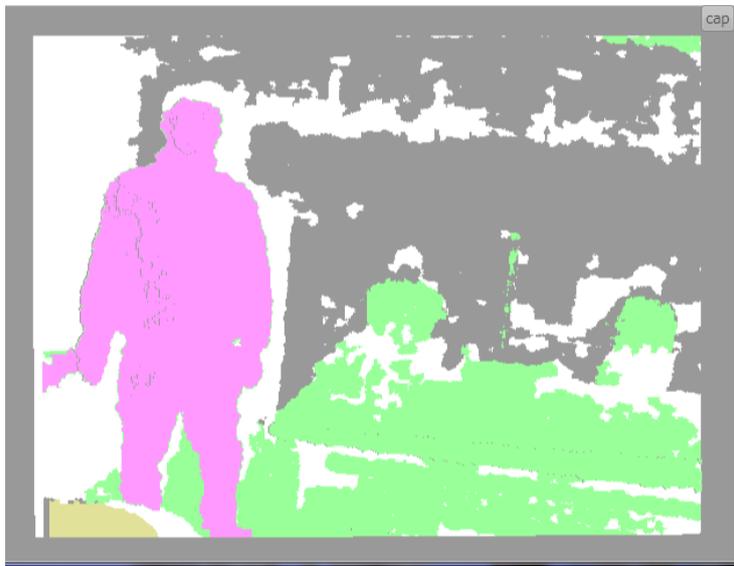
Development of cloud computing use technology

鈴木 翔一

高齢者人口の増加にともない、高齢者の安全安心な生活を支援することが必要となっている。その手段の1つとして情報通信技術（ICT）を利用したサービス提供が考えられる。このサービスを低コストで提供するためには、システムの維持コストが安いクラウドコンピューティング技術が必要である。

本研究では、高齢者のプライバシーを確保しながら、行動や動作をセンシングする技術を組み合わせることで、高齢者の見守りや生活支援が可能なシステムの要素技術の開発を目的とする。

今年度は人を検出するセンサとして、Kinect センサについて検討を行った。Kinect センサの情報から計測範囲内にいる人を認識し、認識した人の形を影絵のような画像で画面上に表示、記録するプログラムを開発した。影絵のような画像になるため、通常のカメラよりも写っている人のプライバシーを守ることができると考えられる。人を認識した時の影絵のような画像を一定時間おきに記録することで、Kinect センサが見守りに利用できることを確認した。



桃：認識した人
緑：適正範囲内
灰：距離が遠い
黄：距離が近い

Kinect センサの情報を可視化した画像